

# 取組事例

## 1 市町村の事例

---

### (4) ボランティア活動に関すること

**事業名**

生涯学習ボランティアバンク入門講座  
趣味を生かして ボランティア！

**目的**

生涯学習に関する豊かな知識や経験、優れた技能を有する地域の人材の有効活用と学習成果の地域社会への還元を目指し、生涯学習ボランティアバンクへの登録を促進する。

**実施主体**

新潟市教育委員会生涯学習センター

**参加対象**

一般市民

**参加者数**

11名

**回数**

3回

**日数**

2日間

**時間**

6時間

**場所**

生涯学習センター講座室

**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月13日(金) 10:00~12:00	生涯学習とボランティア	新潟大学大学院 保健学研究科内講師 西原 亜矢子 様
	内容・方法	自分の学びをボランティアや地域貢献に繋げていく意義などを講義とグループワークなどで学ぶ。	
2	7月13日(金) 13:00~15:00	ボランティア活動の楽しみ	新潟大学大学院 保健学研究科内講師 西原 亜矢子 様 ボランティアバンク登録者 個人登録者2名
	内容・方法	生涯学習ボランティアとして活動している方から、活動のきっかけと楽しさをインタビュー形式で聞く。	
3	7月20日(金) 10:00~12:00	1. ボランティア活動に係る事故予防 2. 新潟市生涯学習ボランティアバンクについて	新潟市中央区社会福祉協議会ボランティア コーディネーター 生涯学習センター職員
	内容・方法	1. ボランティア活動を安全にまた、スムーズに進めるために配慮を学ぶ。 2. 新潟市ボランティアバンクの仕組み、登録方法、活動の流れを知る。	

**成果**

生涯学習とボランティアの関係を理解してもらえた。  
ボランティアバンクのシステムや理念を理解して、登録して貰えた。

**課題**

ボランティアバンクへの登録の為というより、実際に活動しているボランティアや、生涯学習とは何かを確認したいという動機での参加が多かった。講座参加者を増やすよう広報の工夫とともに、そうしたニーズに対応できる内容の充実を考えていく必要がある。

**問合せ先**

新潟市教育委員会生涯学習センター 学習支援係(担当 島倉晶子) TEL: 025-224-2088

**事業名** [生涯学習相談ボランティア養成講座～入門編～]

**目的** 市民の知識経験を生かし、生涯学習相談窓口で学習相談に応じることのできるボランティアを養成する。

**実施主体** 新潟市教育委員会生涯学習センター

**参加対象** ・生涯学習相談に興味のある市民  
・講座終了後、実務研修を経て、「生涯学習相談ボランティア」として活動

**参加者数** 9名

**回数** 5回

**日数** 5日 **時間** 10時間

**場所** 生涯学習センター講座室

**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	12月4日(火) 10:00～12:00	生涯学習ってなあに？学習相談ってなあに？	新潟大学大学院保健学研究科 西原 亜矢子 様
	内容・方法	生涯学習の基本的概念について。 生涯学習とボランティアの関係について。 学習情報提供と学習相談の意義について。	
2	12月11日(火) 10:00～12:00	生涯学習相談員の活動の魅力	生涯学習相談ボランティア
	内容・方法	実際にどんな相談があり、どういう活動をしているのか。 生涯学習相談ボランティアの活動の魅力について。	
3	12月18日(火) 10:00～12:00	相談を受けるということ(その1) コミュニケーションの上手な取り方	産業カウンセラー 福田貴美子 様
	内容・方法	相談員としての基本的な心構えを学ぶ。 相談対応に重要なコミュニケーションの上手な取り方について学ぶ。	
4	1月8日(火) 10:00～12:00	相談を受けるということ(その2) 傾聴の姿勢を学ぶ	産業カウンセラー 福田貴美子 様
	内容・方法	傾聴することの大切さとの基本的態度を学ぶ。 相手の話を聴く時の留意点を学ぶ。	

	期日・時間	テーマ	講師等
	1月15日(火) 10:00~12:00	生涯学習センターを知ろう	生涯学習センター職員
5	内容・方法	生涯学習センター内見学。生涯学習相談ボランティア活動に向けてボランティアに期待すること。実務研修とその後の活動について。	

<b>成 果</b>	グループワークを取り入れたことで、受講者がお互いを知り合うことができ、将来一緒に活動する仲間としての意識の形成に役だった。
<b>課 題</b>	学習相談の相談内容が多岐にわたることから、受講生に対して、具体的なイメージをもって貰う事が難しい。 現相談員との交流の機会を増やして、スムーズに活動につなげる配慮が必要と考える。

**問合せ先** 新潟市教育委員会生涯学習センター 学習支援係 (担当 棚橋祐介) TEL: 025-224-2088

**事業名** [ 読み聞かせボランティア養成講座 ]

**目的** おはなし会やブックスタートのボランティアを養成する。

**実施主体** 長岡市立中央図書館

**参加対象** 一般市民 **参加者数** 106名

**回数** 2回 **日数** 2日 **時間** 4時間

**場所** 長岡市立中央図書館 講堂、講座室1

**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月5日(木) 13:30~15:30	「子どもの発達と絵本 ～0歳からなぜ絵本か～」	すずらん文庫主宰 渡辺順子 様
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乳幼児期の子育てにおける読み聞かせの大切さについて</li> <li>・ 参考図書の紹介</li> </ul>	
2	7月12日(木) 13:30~15:30	「子どもの発達と絵本」	すずらん文庫主宰 渡辺順子 様
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵本の選び方、与え方</li> <li>・ 月齢別絵本紹介</li> <li>・ 講演会終了後、茶話会を行った。</li> </ul>	

<b>成果</b>	・新しくブックスタートボランティアや読み聞かせボランティアを希望される人を19名得ることができた。
<b>課題</b>	・ブックスタートやおはなし会で活動中のボランティアのスキルアップ

**問合せ先** 長岡市立中央図書館 奉仕係 (担当: 諏佐) TEL: 0258-32-0658

**事業名**

「あなたにもできることが見つかる！東日本大震災復興支援を考える講座」

**目的**

被災地の復興のためにできることを考え、行動していくことを目的とする。

**実施主体**

十日町市中央公民館

**参加対象**

十日町市民

**参加者数**

延べ56名

**回数**

3回

**日数**

3日間

**時間**

4時間30分

**場所**

十日町市中央公民館

**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	10月23日(火) 19:30~21:00	「越後から被災地へ『愛』を届けるボランティア」	越後愛届け隊 隊長 倉田 智浩 様
	内容・方法	共立観光(株)で県内から被災地へ支援活動に向うボランティア「越後愛届け隊」を結成した倉田智浩さんから画像・映像も交えて、その活動を紹介してもらった。あわせて、下条中学校の2年生が「わたしの主張 十日町・中魚沼大会」で、その参加体験を発表した作文を再発表してもらった。	
2	11月6日(火) 19:30~21:00	「若者たちによる耕作放棄地・休耕地の活用が被災地を支える」	日本復興！ サンライズプロジェクト の皆さん
	内容・方法	耕作放棄地・休耕地で作物を栽培し、その販売収益金を被災地の復旧・復興支援に活用している「日本復興！サンライズプロジェクト」の皆さんからその取組を紹介してもらった。この取組が縁で、石巻市の水産加工会社「木の屋石巻水産」から十日町市に寄贈してもらった絵本『きぼうのかんづめ』も情報館(図書館)職員から読み聞かせてもらった。	
3	11月20日(火) 19:30~21:00	「私たちは東日本大震災から何を学んだのか ～被災地の現場から十日町へのメッセージ～」	東北大学大学院 教育学研究科 准教授 石井山竜平 様
	内容・方法	宮城県を中心に多くの被災地に入り、『東日本大震災と社会教育』(国土社)を著した東北大学大学院教育学研究科准教授・石井山竜平さんから現地の様子について講演してもらい、被災の現状や被災地の人々やそこに関わる人々が何を学び、獲得してきたのかを社会教育の視点から語ってもらった。	

**成果**

- 多くの参加者が被災地の現状に関心が高め、自分なりに復興支援のためにできることをしようという意欲を確認することができた。

**課題**

- 年度途中で急遽企画した事業だったため、3回という短期の講座になった。参加者の認識をより深めるためには、もう少し時間をかけた多角的な学習が必要であった。

**問合せ先**

十日町市中央公民館業務係(担当:小川清貴) TEL:025-757-5011

**事業名**

「ふるさと見附をもっと楽しもう！ もっと知ってみつけ  
まちのガイド養成講座 「ふるさと見附探検隊（今町、新潟地区編）」

**目的**

ふるさと見附の魅力（歴史・文化・偉人等）を知ってもらうとともに、最終的には、「まちのガイド」を養成する。（複数年で実施予定）

**実施主体**

見附市まちづくり課、教育委員会教育総務課

**参加対象**

成人・一般

**参加者数**

延べ131名

**回数**

8回

**日数**

7日

**時間**

20.5時間

**場所**

今町公民館 他

**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	9月15日（日） 午前9時～12時	「今町の歴史を知ろう①」～町部ウォーキング～	見附市文化財保護審議会委員
	内容・方法	戊辰戦争、遺跡、入澤達吉などを題材に今町地区のまちなかをウォーキングしながら学習した。	
2	9月15日（日） 午後1時30分～4時	「新潟地区の歴史を知ろう①」～文化財ウォーキング～	見附市文化財保護審議会委員
	内容・方法	戊辰戦争、遺跡、小栗山不動院獅子舞を題材に新潟地区をウォーキングしながら学習した。	
3	10月3日（水） 午後7時30分～9時30分	「古文書体験！読めるかな？」	見附市文化財保護審議会委員
	内容・方法	実際の「古文書」を使用し、古文書に書かれている内容について学習した。	
4	10月14日（日） 午前9時～12時	「今町の歴史を知ろう②」～村部ウォーキング～	見附市文化財保護審議会委員
	内容・方法	遺跡、神社、寺院等の文化財を題材に今町地区の村部をウォーキングしながら学習した。	

	期日・時間	テーマ	講師等
5	10月24日（日） 午後7時～9時	「遺跡講座」～土器にふれてみよう（今町地区編）～	見附市文化財保護審議会委員 見附伝承館学芸員
	内容・方法	実際に発掘された土器にふれてもらうとともに発掘した時の状況やその解釈について学習した。	
	期日・時間	テーマ	講師等
6	11月17日（土） 午前9時～12時	「今町の歴史を知ろう③」～村部ウォーキング～	見附市文化財保護審議会委員
	内容・方法	遺跡、神社、寺院等の文化財を題材に今町地区の村部をウォーキングしながら学習した。 ※第4回で学習した以外の場所で開催	
	期日・時間	テーマ	講師等
7	11月28日（水） 午後7時～9時	「遺跡講座」～土器にふれてみよう（新潟地区編）～	見附市文化財保護審議会委員 見附伝承館学芸員
	内容・方法	実際に発掘された土器にふれてもらうとともに発掘した時の状況やその解釈について学習した。	
	期日・時間	テーマ	講師等
8	12月8日（土） 午前9時～12時	「新潟地区の歴史を知ろう②」～文化財ウォーキング～	見附市文化財保護審議会委員
	内容・方法	戊辰戦争、遺跡、大橋家等を題材に新潟地区をウォーキングしながら学習した。 ※第2回で学習した以外の場所で開催	

### 成 果

- ・「ふるさと見附」の魅力を知ってもらう機会となり、初期の目標は達成した。  
1月～3月までの間に追加の講座を行う予定。

### 課 題

- ・最終目標は「まちのガイド」を養成することだが、これについては、8回の開催では困難だと思われる。複数年をかけて養成していかなければならない。

### 問合せ先

見附市まちづくり課生涯学習推進係（担当：小此鬼 明） TEL 0258-62-7801



**事業名**

〔平成24年度新潟県地域の絆づくり・教育力向上支援モデル事業  
つばめBOOKサポーター育成講座〕

**目的**

一体感を持ち、市内の読書活動の拡充を図る目的で各読み聞かせ団体会員を対象にしたグループを新たに新設する。

**実施主体**

燕市教育委員会生涯学習課、学校教育課、子育て支援課

**参加対象**

市内読み聞かせ団体、学校支援ボランティア

**参加者数**

延べ98名

**回数**

5回

**日数**

5日間

**時間**

10.5時間

**場所**

燕市中央公民館 中ホール

**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月7日（木） 10時～正午	「私達の活動について」	JPIC読書アドバイザー 朝日 仁美 様
	内容・方法	(意見交換) ・互いに知ってもらうために、1人ずつ自己紹介 ・「良い本とはどんな本？それを伝えるには？」をテーマに6人1組の3グループでそれぞれ話し合い、1枚の紙にまとめ、その後4分間で発表する。	
2	6月14日（木） 10時～正午	「学校図書館支援センターと公共図書館ボランティアについて」	新潟市西川図書館学校図書館支援センター 子安 洋子 様
	内容・方法	(講義) ・西川図書館について ・新潟市の学校図書館支援センターについて ・公共図書館ボランティアについて	
3 ・ 4	6月28日（木） 10時～正午 7月5日（木） 9時半～正午	「効果的な読書指導・アニメーション」	新潟大学准教授 足立 幸子 様
	内容・方法	(講義) ・読書へのアニメーションについて (実践練習) ・アニメーション	

	期日・時間	テーマ	講師等
5	7月12日（木） 10時～正午	「ボランティアとは何だろう」	JPIC読書アドバイザー 朝日 仁美 様
	内容・方法	(講義) ・ボランティアとは、ボランティアを続けていくために大切なこと	

成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アニメーションを初めて体験した方が多く、勉強になった、もっと勉強したいという声があった。</li> </ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講座終了後、引き続き他団体の活動を見学し情報交換会を行った。</li> <li>・ 学習活動と実践をつなぐ取組を今後どのような形にしていくか。</li> </ul>

問 合 せ 先

燕市教育委員会生涯学習課（担当：公民館係 星野） TEL：0256-63-7001

**事業名**

〔 図書館読み聞かせボランティア養成講座 〕

**目的**

読み聞かせ活動を希望している人の初歩的技術の指導と現在活動をしているボランティアの資質向上を目的とし、幼児・児童への読み聞かせ活動の推進を図る。

**実施主体**

燕市立図書館

**参加対象**

読み聞かせボランティア

**参加者数**

延べ122名

**回数**

7回

**日数**

7日

**時間**

15.5時間

**場所**

燕市立分水公民館（養成講座）、燕市立吉田公民館（スキルアップ講座）

**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月7日（木） ～7月5日（木） の中の4日 10:00～12:00	読み聞かせボランティア養成講座	小さな絵本館サバト 西川 暁子 様
	内容・方法	・これから図書館などで読み聞かせ活動を希望する人に対して、ボランティアとしての心構え、絵本に対する知識や読み聞かせなどの基本的技術とプログラムの立て方の実践的手法を学ぶ。	
2	期日・時間 10月3日（水） 24日（水） 31日（水） 13:30～16:00	読み聞かせボランティアスキルアップ講座	新潟ひょうしぎの会 今井 和江 様 桑原 敏子 様
	内容・方法	・現在、読み聞かせ活動をしている図書館ボランティアを対象に、技術向上のため、毎年違うテーマでスキルアップ講座をおこなっている。 ・24年度のテーマ「紙芝居の基礎知識と実技について」	

**成果**

読み聞かせボランティアを増員することができた。スキルアップ講座では、読み聞かせ会には不可欠な紙芝居の知識・技法を専門講師から学ぶことができた。

**課題**

ボランティアが必要としているスキルアップ講座のテーマの選定と講師の確保に悩んでいる。

**問合せ先**

燕市生涯学習課 図書館係（担当：酒井和裕 燕市立吉田図書館 TEL0256-92-7650）

**事業名**

糸魚川市学校支援ボランティアスキルアップ研修会

**目的**

学校支援事業の一環として、学校及びコーディネーター、ボランティアなどの事業関係者の資質向上を図る。

**実施主体**

糸魚川市教育委員会（生涯学習課）

**参加対象**

学校支援コーディネーター  
市内小・中学校教員  
地域ボランティア

**参加者数**

61名

**回数**

1回

**日数**

1日

**時間**

2時間

**場所**

糸魚川市役所 201・202会議室

**内容**

期日・時間	テーマ	講師等
9月28日（金） 15:00～17:00	坂井東パートナーシップ・ネバーエンディングストーリー ～学校とともに地域で子どもをはぐくむおとなの輪～	新潟市立坂井東小学校 地域教育コーディネーター 郷 扶二子 様

内容・方法	<p><b>【内容】</b></p> <p>○坂井東小学校での取組事例発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターの役割（人をつなぐきっかけ作り）</li> <li>・坂井東の地域力</li> <li>・方向性を明確にする（次の活動に活かすアイデアを吸収する）</li> <li>・人を中心とした仕組みの構築</li> <li>・学校、地域の力で子どもを育む体制作り</li> <li>・地域らしさを活かした取組</li> <li>・一体感をつくる</li> <li>・地域への情報発信</li> <li>・共通理解の重要性</li> </ul> <p><b>【方法】</b></p> <p>坂井東小学校での取組事例を中心した内容。 参加者から事前に質問を集約し、回答を織り交ぜながら進行。</p>
-------	--

<b>成果</b>	・事業の動きだしや意識の持ち方などの初期的な部分が多く、これから取りかかる地域を始め、実践中の地域でも参考になる部分は多かったと感じられる。
<b>課題</b>	・坂井東と比べ糸魚川は歴史が浅いため、学校や地域からの要望を聞き取り、必要に応じて行政が主導となって研修会を開いていく必要がある。

**問合せ先**

糸魚川市教育委員会生涯学習課（担当：近川勝章） TEL025-552-1511

**事業名** [せきかわゼミナール：観光ガイド実践講座]

**目的** 若い人たちに村の文化を知ってもらい、それを伝えることを学んでもらう。

**実施主体** 関川村教育委員会

**参加対象** 村内在住の20歳～40歳の方 **参加者数** 11名

**回数** 4回 **日数** 4日 **時間** 二

**場所** 講座によって異なる

**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	9月30日（日）	ガイドについて	平田 大六 村長
	内容	ガイドをする上でのポイントや名所、文化財を勉強する	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	10月22日（月）	分担確認	
内容	ガイドをする箇所・ポイントを決めて、進め方を話し合っていく。		
3	期日・時間	テーマ	講師等
	10月27日（土）	ガイド・リハーサル	
内容	実際にガイドの箇所を歩いてみて、ガイドの練習を行う。		
4	期日・時間	テーマ	講師等
	10月28日（日）	観光ガイドの実践	
内容	「堀と柳の秋まつり」のイベントの一環としてガイドを実践。午前・午後の2回開催。		

**成果** ・自分たちの身近な場所に対して、趣を持ってみることで貴重な体験となることができた。この取り組みが若い人たちによる地域おこしの一環として、テレビや新聞に取り上げられたことも大きかった。

**課題** ・実際のガイドの行程の中で、一部、平田村長にガイドをお願いしたところがあった。まつりのイベントは毎年開催しているが、今後も実施できるかどうかはあらためて取り組む必要がある。

**問合せ先** 関川村教育委員会（担当 加藤 龍）TEL：0254-64-2134